

愛媛県県立学校振興計画「第1回地域説明会（四国中央地区）」での 主な御意見等について

令和4年8月6日～21日において、「愛媛県県立学校振興計画」策定の目的や計画（案）の内容などについて説明する第1回地域説明会を8地区で開催しました。

本地区における主な御意見等については、以下のとおりです。

項目	主な御意見等	県教育委員会の考え方
経緯	これまでの検討委員会・地域協議会、今回の説明会について、どのように周知してきたのか。	検討委員会・地域協議会・地域説明会については、開催の都度ホームページに各種情報を掲載するほか、各テレビ局や新聞社へのプレスリリースを通じ報道をお願いするなど広報に努めてきており、これまでに検討委員会の初会合や、地域協議会の開催、検討委員による中間報告など、大きな節目ごとに、新聞等でも報道されてきたところです。
学級数	計画案で、川之江高校は5学級、三島高校は7学級となっているが、それぞれ6学級がよいのではないか。	計画案の学級数については、これまでの志願状況及び今後の志願者数予測に基づき設定しています。 なお、計画策定後の具体の学級数については、今後の中学生の進路状況や地域の状況などを踏まえ、毎年検討することとしています。
進学指導	本地区の中学生が、新居浜市、香川県等に流出している。地域の県立高校に進学すれば第一志望の大学に行ける体制づくりが必要である。	計画案では、進学指導強化モデル校を設置するとともに、そこで蓄積したノウハウを他校に普及させることで、県立学校全体の進学指導力を強化することとしており、遠くの進学校に行かなくても、地域内の学校で学べば第一志望の学校に進学できる体制づくりを進めてまいります。

学科 コース	川之江高校に工業科の紙産業学科を2学級設置することや、三島高校に書道コースを設置することなど、特色ある学科・コースを設けてほしい。	工業科設置については地域協議会で議論されましたが、隣接する新居浜地域に新居浜工業高校があるほか、川之江高校に工業科2学級を設置すると同校の普通科が5学級→3学級となり進学面で生徒流出を招く恐れがあることなどから、前期計画では見送ることとなりました。 書道パフォーマンス甲子園の開催地に書道コースをとのご提案は、ユニークで意義は認められますが、学科やコースの設置については、一定以上の生徒需要が見込めることが絶対条件であり、現在、書道コースを設置している高校においても選択者は若干名である状況などを踏まえると、直ちに「書道」単独でのコース設定は難しいと思われます。 これらのご提案は各校に伝達し、後期計画に向け、生徒の希望状況も踏まえながら可能性を検討してまいります。
	本気で語学を学びたい生徒が市外へ流出しているので、本地区にも国際関係のコースを設けてほしい。	当地域内での国際教育については、川之江高校において、グローバル化を見据え、海外研修プログラムを実施する「グローバル人財育成事業」を、令和元年度から学校独自の取組として実施しています。 国際コースの設置については、地域協議会でも協議されていませんが、学校と地域が協議のうえ、必要性を吟味し地域要望として合意できるのであれば、生徒の希望状況を踏まえながら、計画にとらわれず適宜検討してまいります。
	世界と渡り合える紙産業の担い手を育成するためにも、四国中央市にある愛媛大学紙産業イノベーションセンターと高校が連携していくべき。	現在も、土居高校の紙のまちづくりコースが同センターでの実習等を行っております。 当面は土居高校の教育活動を充実させるとともに、地域内の他校にも普及させていきたいと考えています。